

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. タイ・ラオスの伝統文化研究
[担当：伝統工芸部門、伝統芸能部門]
2. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]
3. 鎌倉新資料の調査、整理、記録、教育的活用研究
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - a 『おもろさうし』『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
 - b 沖縄の神歌の調査研究
 - c 波照間島の伝統文化の調査研究 [担当：波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・西岡敏調査員・飯田泰彦調査員・照屋理調査員]
2. 『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇）』編集
3. 沖縄芸術の美学的研究 [担当：喜屋武盛也講師]
4. 沖縄文化の比較文化論的研究 [担当：波平八郎准教授]
5. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座 [担当：波照間永吉教授]
【前期】第1回～第5回 2008年6月18日（水）～7月16日（水）
【後期】第6回～第11回 2008年9月24日（水）～10月29日（水）
各回とも午後7時～午後9時 沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂
第1回 2008年6月18日 講師：波照間永吉（附属研究所教授）
『『おもろさうし』にみる古琉球の御嶽』
第2回 2008年6月25日 講師：波照間永吉（附属研究所教授）
『御嶽と起源伝承』『琉球国由来記』を中心に

- 第3回 2008年7月2日 講師：安里 進（県立芸大音楽学部教授）
「考古学からみたグスクと御嶽 2つの道 古琉球のグスクから
近世の御嶽へ」
- 第4回 2008年7月9日 講師：津波 高志（琉球大学教授）
「沖縄の集落と御嶽」
- 第5回 2008年7月16日 講師：照屋 理（附属研究所共同研究員）
「御嶽に祀られる神について 神名を中心に 」
- 第6回 2008年9月24日 講師：赤嶺 政信（琉球大教授）
「民間信仰と御嶽」
- 第7回 2008年10月1日 講師：山下 欣一（鹿児島経済大学名誉教授）
「御嶽の創成伝承とユタ」
- 第8回 2008年10月8日 講師：大城 學（国立劇場おきなわ調査養成課課長）
「祭祀・芸能と御嶽」
- 第9回 2008年10月15日 講師：田場由美雄（附属研究所共同研究員）
「近代沖縄と御嶽 思想史の中の御嶽」
- 第10回 2008年10月22日 講師：李 春子（神戸女子大学非常勤講師）
「東アジアの鎮守の森と沖縄の御嶽」
- 第11回 2008年10月29日 講師：安里英子（女性史研究者）
「地域開発のなかの御嶽」

6. おもろ研究会（平山良明代表）開催 [担当：波照間永吉教授]

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳悦州教授]
 - a 日本民藝館所蔵沖縄染織品調査（1月、2月、5月、8月、9月、12月）
 - b 沖縄県立図書館所蔵「東恩納寛惇文庫『琉球染織』」資料調査（3月まで）
2. 織物技法研究 [担当：柳悦州教授]
 - a 腰機の復元と紋織りの研究
 - b 八重山地域の腰機調査
3. タイ・ラオス織物文化研究 [担当：柳悦州教授]
4. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究 [担当：柳悦州教授]

5. 鎌倉新資料の調査、写真撮影 [担当：小倉美左教授、島袋常秀教授、柳悦州教授]
6. 文化講座「沖縄における染織研究の現状」全12回 [担当：柳悦州教授]
 - 第1回 9月1日(月)「田中俊雄のまなざし」山田葉子(共同研究員)
 - 第2回 9月4日(木)「田中俊雄のまなざし」山田葉子(共同研究員)
 - 第3回 9月8日(月)日本民藝館所蔵沖縄染織品調査」本多摂子(共同研究員)
 - 第4回 9月11日(木)「日本民藝館所蔵沖縄染織品調査」本多摂子(共同研究員)
 - 第5回 9月18日(木)「久米島について」宮良みゆき(久米島自然文化センター)
 - 第6回 9月19日(金)「久米島絨について」宮良みゆき(久米島自然文化センター)
 - 第7回 9月25日(木)「知花花織の復元」幸喜 新(沖縄市役所)
 - 第8回 10月2日(木)「知花花織の現状」幸喜 新(沖縄市役所)
 - 第9回 10月9日(木)「紅型の模様構成」平田美奈子(共同研究員)
 - 第10回 10月16日(木)「紅型模様における自然観」平田美奈子(共同研究員)
 - 第11回 10月20日(月)「腰機と紋織り」柳 悦州(附属研究所教授)
 - 第12回 10月23日(木)「沖縄の絣織物」柳 悦州(附属研究所教授)

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽の調査研究 [担当：久万田晋教授]
 - a 奄美大島・喜界島の伝統芸能の調査研究 [9月、11月]
 - b 沖縄本島中部の音楽芸能の調査研究
 - c 鹿児島県三島村硫黄島の伝統芸能の調査研究 [9月]
2. 沖縄奄美の民俗音楽・芸能関係資料の収集 [担当：久万田晋教授]
3. アジア諸地域の伝統音楽芸能の調査研究
 - a インドネシア・バリ島の音楽芸能の調査研究 [担当：梅田英春准教授]
4. 公開講座「バリ舞踊の理論と実践 - バリ舞踊とガムランを交えた体験を通じて」[担当：梅田英春准教授] 2008年5月～7月 全10回 実技+講義
講師：軍司愛(附属研究所共同研究員)・梅田英春准教授

5. 文化講座(無料)「琉球芸能の近代化」全7回[担当:久万田晋教授]

- 第1回 1月16日(金) 講師:三島わかかな(沖縄県立芸術大学非常勤講師)
「明治期沖縄の演奏会事始め」
- 第2回 1月23日(金) 講師:三島わかかな(沖縄県立芸術大学非常勤講師)
「沖縄音楽の創作と研究事始め~宮良長包と山内盛彬~」
- 第3回 1月30日(金) 講師:久万田晋(附属研究所教授)
「琉球芸能における古典/民俗概念の形成~二つの芸能大会
(1928年、1936年)を通じて~」
- 第4回 2月5日(木) 講師:清村まり子(附属研究所共同研究員)
「南の島の芸能イメージの創出~日劇琉球レビューを例に~」
- 第5回 2月13日(金) 講師:大城ナミ(琉球舞踊家)
「戦後沖縄の琉球舞踊の展開~琉舞コンクールがもたらしたもの~」
- 第6回 2月19日(木) 講師:高橋美樹(高知大学教育学部准教授)
「戦前~戦後期沖縄における流行民謡の展開~普久原朝喜~」
- 第7回 2月27日(金) 講師:久万田晋(附属研究所教授)
「戦後ゴザのエイサーコンクールと民族芸能エイサーの発展」

II 主要研究業績

1) 研究所員主要研究業績(2008年1月~12月)

1. 著書・編書 2. 論文 3. 作品発表・公演 4. 研究発表
5. 解説等 6. 講演・放送 7. その他

2) 助成研究

1. 平成20年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
 a 研究代表者となっているもの b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学関連助成研究
3. その他

(1) 研究所長

波照間永吉（教授・専任教員）

- 1) 1. 『琉球・沖縄芸能史年表』（第4集）（共編）国立劇場おきなわ
2008年3月24日
1. 『新編 沖縄の文学 増補改訂版』沖縄時事出版社 2008年4月1日
2. 「書評 藤井貞和『甦る詩学 「古日本文学発生論」続 南島集成』」
『沖縄タイムス』2008年2月7日
2. 「琉球・沖縄芸能史年表総説」『琉球・沖縄芸能史年表』（第4集）（共編）
国立劇場おきなわ
2. 「御嶽をめぐる心やさしき人びと」『ピオストーリー』9号 生き物文化
史学会 2008年4月30日
2. 「八重山の古謡」『沖縄の古謡保存事業CD 八重山篇上』沖縄県文化振
興会 2008年3月31日
2. 「首里王府の祭祀とオモロ」『沖縄・八重山文化研究会』191号
2008年7月20日
2. 『沖縄民俗辞典』項目執筆「口説／ティルクグチ／ユングトゥ」 吉川
弘文館 2008年7月20日
2. 「宮古・八重山の航海安全祭儀と風旗」『沖縄・八重山文化研究会』195
号 2008年12月14日
4. 「オモロからみる沖縄・八重山の歌謡」（全国大工ネット講演会）
2008年2月2日 那覇：アルテ崎山・赤田ギャラリーホール
4. 「沖縄の航海安全祭儀 説話と歌謡から 」（久高島フォーラム）
2008年3月26日
4. 「首里王府の祭祀とオモロ」沖縄・八重山文化研究会 2008年6月15日
4. 「『おもろさうし』にみる古琉球の御嶽」沖縄県立芸術大学附属研究所公
開講座第1回 2008年6月18日
4. 「御嶽と起源伝承 『琉球国由来記』を中心に 」（久高島フォーラム）
沖縄県立芸術大
学附属研究 所公開講座第2回 2008年6月25日
4. 「浦添・牧港とオモロ」浦添市牧港会7月例会 2008年7月28日
6. RBCラジオ月曜フォーラム「ウチナンチュの心のふるさと 祈りの

文化」2008年1月28日

6. RBCラジオ「団塊花盛り」(『おもろさうし』について)
2008年2月8日
6. 琉球放送テレビ「1000人のことば」2008年2月23日
6. RBCラジオ「玉城朋彦の沖縄大好き」2008年10月26日
6. NHKラジオ「私の日本語辞典」(全4回)2008年12月6・13・20・27
日午後5時～5時40分
7. インタビュー記事「『おもろさうし』について」『情報やいま』
2008年2月号
7. 「若き芸能者たちへ」『沖縄タイムス』2008年2月29日
7. 「宮城信勇著『石垣方言辞典』 吉川英治賞受賞を祝す」『沖縄タイムス』
2008年4月8日
7. 「祝いのことば 宮城信勇『石垣方言辞典』の受賞」『吉川英治賞平成20
年度要項』 吉川英治国民文化振興会 2008年4月11日
7. 国立劇場おきなわ自主公演「小浜島の芸能」解説 2008年5月25日
7. 「首里城周辺史跡めぐり オモロと祭祀資料」(解説) 沖縄県立芸術大
学開学記念日史跡めぐり 2008年5月15日
7. 「“ 途上 ” の人へ」『第2回比嘉いずみの会 玉水ゆかみてい』
2008年5月31日
7. 「神島沖縄と御嶽」『読売新聞』(西部版)2008年6月3日
7. 書評「当山善堂『精選八重山古典民謡集』(CD付き)」『琉球新報』
2008年9月25日
7. 「序」『八重山古典民謡 舞踊曲集』(宮良長忠・崎山三郎編著)2008年
8月28日
7. 「追悼 森田孫榮氏」『沖縄タイムス』2008年12月10日

過年度研究業績

1. 『鎌倉芳太郎資料集(ノート篇) 美術・工芸』沖縄県立芸術大学附属
研究所 2005年3月30日

1. 『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇）民俗・宗教』沖縄県立芸術大学附属研究所 2006年3月30日
- 2) 1. a 基盤研究(B)「鎌倉芳太郎資料の画像データベースの構築・公開とその応用的研究」2008年度交付額：170万円
3. ACC助成事業「沖縄と中国雲南省少数民族の芸能および祭祀の比較研究」

(2) 芸術文化学部門

波平 八郎（准教授、兼任）

- 1) 2. 「俳彫大要 俳句と彫刻」『沖縄県立芸術大学紀要』第16号 2008年3月
7. 「条件不利地域におけるブロードバンド化促進のための調査研究会」（総務省沖縄総合通信事務所）座長
- 2) 1. b 萌芽研究「沖縄の都市空間の文化論的研究」研究代表者：久万田晋
1. b 基盤研究(B)「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間永吉
2. 沖縄県立芸術大学教育研究支援資金「総合教育研究センター（仮）設置の基礎研究」プロジェクトリーダー：福富秀夫

喜屋武 盛也（講師、兼任教員）

- 1) 6. 「メランコリーの系譜」沖縄県立芸術大学美術工芸学部・芸術学専攻教養講座 2008年10月9日 沖縄県立芸術大学
7. (寄稿)「津波博美展覧会に寄せて」『琉球新報』 2009年1月26日
- 2) 1. b 基盤研究(A)「生活場所（ピオトープ）」の美学 自然・環境・美的文化」研究代表者：西村清和
1. b 萌芽研究「沖縄の都市空間の文化論的研究」研究代表者：久万田晋

(3) 伝統工芸部門

柳 悦州（教授、専任教員）

- 1) 2. 「海水を利用した植物染色の可能性」『沖縄芸術の科学』第20号（沖縄県

立芸術大学附属研究所紀要 共著者：本多摂子、武笠明子) pp.143-159
2008年3月

2. 「日本民藝館所蔵沖縄染織品調査について」『民藝』(日本民藝協会)
pp.27-31 2008年4月
 3. 経浮帯「サトウキビの花」平成20年度《民藝館展》日本民藝館
2008年12月
 5. 「玉川大学」『総合教育研究センター(仮)設置の基礎研究』平成19年度
「沖縄県立芸術大学教育研究支援資金」事業報告書 pp.143-152
2008年3月
 6. 「沖縄の織物 - 日本民藝館所蔵品調査を通して - 」日本民藝館記念講
演会 日本民藝館 2008年5月31日
 6. 「沖縄の紋織と腰機」附属研究所文化講座「沖縄における染織研究の現
状」第11回 2008年10月20日
 6. 「沖縄の緋織物」附属研究所文化講座「沖縄における染織研究の現状」
第12回 2008年10月23日
 7. タイ・ラオス織物調査 2008年3月12日～30日 ラオス・ピエンチャ
ン地域とタイ・スリン地域の織物文化調査
 7. 「ラオス織物を極める」『地球の歩き方 ラオス』改訂第6版 pp.248-
249 2008年6月
 7. 「鎌倉芳太郎収集紅型型紙資料 - 県立芸術大学附属図書・芸術資料館蔵
収蔵品から - 」『琉球新報』《美を見る45》2008年8月22日
 7. 審査・講評「日本民藝館展 - 新作工芸公募展 - 」日本民藝館 2008年11
月23日～12月4日
- 2) 1. b 「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」
基盤研究(B) 研究代表者：波照間永吉
2. 「総合教育研究センター(仮)設置の基礎研究」沖縄県立芸術大学教育
研究支援資金 プロジェクト・リーダー：福富秀夫

島袋 常秀(教授、兼任教員)

3. 「刷毛目皿」現代沖縄陶工展 2008年3月 那覇市立壺屋焼物博物館

- 3. 「刷毛目皿」08 読谷やちむん展 他2点 2008年2月 読谷村美術館
- 3. 「刷毛目色差皿」沖展 2008年3月 浦添美術館
- 3. 「刷毛目色差皿」やんばる移動展 2008年4月 名護21世紀の森
体育館
- 3. 「刷毛目皿」国展 2008年5月 国立新美術館

小倉 美佐（教授、兼任教員）

- 1) 3. 型染パネル作品「光満ちて」 日本テキスタイルカウンシル《テキスタイルの未来形》札幌芸術の森美術館 2008年9月
- 3. 型染パネル作品「雲雲模糊」《新匠工芸会》東京都美術館 2008年10月 / 京都市美術館 2008年11月
- 3. 型染パネル作品「あ・そ・ぼー」「光雲」「月の海」他旧作10点を加えて 個展 半島芸術祭 in 南城 南城市知念 2008年10月
- 3. 型染パネル作品「風を受け、光を受けて」沖縄・タイ国際交流美術展「平面の広がりそして未来」県立芸大附属図書・芸術資料館 2008年12月
- 7. タイ伝統文化調査 2008年3月
- 7. タイの染織工芸調査 2008年9月
- 7. ワークショップ「紅型と型染」タイ・キングモングット大学 2008年9月
- 2) 1. a 基盤研究(C)「沖縄古典文様に見る自然観の図像化における時空間比較」 研究代表者：小倉美左
- 1. b 基盤研究(B)「鎌倉芳太郎資料のデータベースの構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間永吉
- 2. 「沖縄・タイ国際美術交流展 平面表現の広がり」沖縄県立芸術大学教育研究支援資金 プロジェクト・リーダー：小倉美左

(4) 伝統芸能部門

久万田 晋（教授、専任教員）

- 1) 2. 「琉球芸能における〈古典〉概念の形成 - 昭和11年の琉球古典芸能大会

- をめぐって - 』『沖縄における身体の近代化 - 御冠船踊りの受容をめぐって - 平成17年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書』沖縄県立芸術大学 pp.1-18 2008年3月30日
2. 「奄美・沖縄の神祭りにみる芸能」『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』創刊号 pp.21-26 2008年3月31日
 2. 「奄美大島の八月踊りについて」『民博通信』no.120、国立民族学博物館 pp.12-13 2008年3月31日
 2. 「エイサーの広がり」『沖縄市のエイサー - 伝統の継承者たち - 』（沖縄市立郷土博物館第36回企画展図録）沖縄市立郷土博物館 pp.61-71 2008年7月18日
 4. 研究発表「エイサーの歴史について」沖縄市立郷土博物館パネルディスカッション「これからのエイサーの継承について」にパネリストとして参加・発表 2008年8月28日 沖縄市文化センター4階芸能館
 4. 研究発表「芸能の構造と脈絡～硫黄島八朔太鼓踊りの事例から～」フォーラム＜映像による芸能の民族誌＞（国立民族学博物館機関研究ならびに共同研究「伝統芸能の映像記録の可能性と課題」、および日本学術振興会人文社会科学振興プロジェクト研究事業「伝統と越境 - とどまる力と越えいく流れのインタラクション」）2008年10月19日 大阪：国立民族学博物館
 4. 研究発表「都市化と村踊り～宜野湾マールアシビの事例から～」村踊りフォーラム＜村踊りの伝承とその役割 第4回村踊りの役割＞（トヨタ財団研究助成「芸能による地域共同体の再構築 - 沖縄における村踊り伝承の支援 - 」研究代表者：板谷徹）2008年10月25日 恩納村博物館
 6. 講義「エイサー外伝・各地エイサーの特徴」沖縄市地域雇用創出推進協議会エイサーガイド養成講座 2008年1月29日 沖縄市：M.B.A.Training Lab.
 6. 講義「沖縄の神話的世界と歌声 - 映画＜ウンタマギルー＞から - 」平成19年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「映画にみるアジアの音楽芸能」第3回 2008年2月1日 沖縄県立芸術大学附属研究所
 7. 研究発表記録「ポピュラー音楽における伝統と民族アイデンティティ

- 宮古出身ミュージシャンを例に」『日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト研究事業 平成19年度研究報告 伝統から創造へ2』日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト研究事業「伝統と越境 - とどまる力と超えゆく流れのインタラクション」「芸術文化における〈伝統的なもの〉」グループ pp.27-37 2008年3月31日

7. ディスカッション記録「IV. 意見交換」笹原亮二編『映像で八月踊りを記録する』国立民族学博物館（機関研究プロジェクト〈伝統芸能の映像記録の可能性と課題〉・機関研究プロジェクト〈ユーラシアと日本：交流とイメージ〉） pp.28-42 2008年3月31日
7. ディスカッション記録「V. 参考資料：阿室における〈奄美大島の八月踊り〉上演・意見交換会記録」笹原亮二編『映像で八月踊りを記録する』国立民族学博物館 pp.43-50 2008年3月31日
7. シンポジウム記録「パネルディスカッション 時空をこえて沖縄祭祀の示すもの」『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』創刊号 pp.71-94 2008年3月31日
7. 概説「祭りと民謡」『沖縄大好き検定公式ガイドブック』ぴあ株式会社 pp.156-165 2008年8月20日
7. 「書評：多田治著『沖縄イメージを旅する 柳田国男から移住ブームまで』」『琉球新報』2008年10月12日

2) 1. a 萌芽研究「沖縄の都市空間の文化論的研究」2008年度交付額：90万円

1. b 基盤研究(B)「鎌倉芳太郎資料のデータベースの構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間永吉
1. b 基盤研究(C)「沖縄エイサー芸能の生成過程の解明 - 手踊りエイサーの様式性に注目して - 」研究代表者：酒井正子(川村学園女子大学)

梅田 英春(准教授、兼任教員)

1) 2. 「バリ島のワヤン演目「クンパカルナの戦死」に関する一考察」『MOUSA』9号 pp.1-13 2008年

2. 「インドネシア、バリ島の芸術文化政策」笠原潔・西村清和編『世界の芸術文化政策』放送大学教育振興会 pp.165-179 2008年
2. 「タイ南西部における影絵人形芝居ナン・タルンの諸特徴」『沖縄芸術の科学』第20号 pp.109-141 2008年
2. 「芸能の島が癒しの楽園か? バリ観光における芸能の行方」朝水宗彦編『アジア太平洋の人的移動』SAKUTA pp.24-41 2008年
3. 企画・構成・音楽指導・演奏「バリ島のチャロナラン劇」<キジムナーフェスタ> 2008年8月23日~25日 沖縄市
3. ワヤン(影絵芝居)上演 奏楽堂演奏会「バリ島の影絵芝居とガムラン音楽」 2008年3月22日 沖縄県立芸術大学奏楽堂
3. 構成・演奏「黄金の雨 バリ島のガムラン音楽と舞踊の魅力」<沖縄インドネシア友好協会第11回インドネシア講座> 2008年2月9日 おきでんふれあいプラザ
3. ガムラン演奏(初演)魚路恭子作曲《FR1》(ヴァイオリンとガムラン)<岡田光樹ヴァイオリン・リサイタル> 2008年10月31日 兵庫県立芸術文化センター
3. 魚路恭子《炎色反応》(ヴァイオリンとガムラン)初演 ガムラン演奏<九州・沖縄現代音楽祭> 2008年10月11日 琉球大学
4. 「映像資料が現地の芸能にもたしたもの 市販されたバリ伝統舞踊集VCDの事例から」フォーラム「映像による芸能の民族誌の可能性」 2008年10月19日 国立民族学博物館
4. CD解説『バリ島トゥンジュク村のゴング・レコ(器楽篇)』(NARD5012) 2008年7月
6. 講演「バリ観光と芸能を考える 映画「バリ島珍道中」他」平成19年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「映画にみるアジア音楽芸能」 2008年1月25日
6. 講演「インドネシア・バリ島の芸術文化政策」インドネシア芸術を巡る旅:音楽・舞踊・演劇の多様性 国際交流基金 2008年11月18日
6. テレビ放送「インドネシア・バリ島の芸術文化政策」放送大学大学院文化科学研究科『世界の芸術文化政策』(放映:2008年4月~)

7. 「ケチャとチャロナラン劇」『沖縄タイムス』(2008年7月15日 夕刊)
- 2) 1. a 基盤研究(C)「バリ島の音楽・舞踊と文化政策に関する民族音楽学的研究」2008年度交付額：100万円
1. b 基盤研究(A)「文化の世代間継承に関する文化人類学的研究 インドネシアの事例から」研究代表者：鏡味治也
1. b 基盤研究(C)「楽器におけるわざ学の伝承とグローバリゼーション」研究代表者：田中多佳子
1. b 萌芽研究「沖縄の都市空間の文化論的研究」研究代表者：久万田晋

比嘉 康春(教授 兼任教員)

- 1) 3. 国立劇場おきなわ主催 第38回琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」地謡/歌三線 2008年1月12日
3. 第61回NHK沖縄の歌と踊りのつどい 舞踊地謡/歌三線 2008年4月13日 うるま市民芸術劇場
3. 国立劇場おきなわ主催 第21回企画公演「普久原恒勇の世界」 器楽演奏地謡/歌三線 2008年5月17日
3. 第2回比嘉いずみの会 舞踊地謡/歌三線 2008年5月31日 国立劇場おきなわ 7月7日 名護市民会館
3. 国立劇場おきなわ主催 第31回組踊公演「孝女布晒」地謡/歌三線 2008年8月23日
3. 第15回首里城公園中秋の宴 組踊「義臣物語」地謡/歌三線 2008年9月15日 首里城正殿
3. 平成20年度文化庁芸術祭祝典「沖縄の唄と踊り」 舞踊地謡/歌三線 2008年10月1日 東京国立劇場
7. 琉球舞踊曲全集CD 6巻全55曲 監修及び演奏 歌三線 2008年10月25日 国際貿易
7. 沖縄県文化振興会主催第4回「おきなわ文学賞」琉歌部門審査員 2008年10月17日 県立公文書館
3. 前田千加子の会 舞踊地謡/歌三線 2008年12月21日 国立劇場おきなわ